



# DAN. フィラーエポ

*Dan filler epo*

建物を長くまもるための選択。

## 〈特長〉

- ① **弾性機能を持ち、下地のひび割れに追従して防水性を付与できます。**  
JIS A 6909 「可とう形改修塗材RE」および「防水形複層塗材RE」の主材として使用できます。
- ② **長期間、クラック追従性を維持します。**  
美観の維持はもちろん、中性化を抑制し、建物の保護に貢献します。
- ③ **強い付着力で下地に密着。**  
各種旧塗膜や上塗り材への密着にすぐれています。  
(エポキシ含有特殊反応硬化形樹脂エマルジョン配合)
- ④ **透湿性を有しています。**  
塗膜には透湿性がありますので、背面からの水分の影響を緩和し、膨れや剥離を抑制します。
- ⑤ **すぐれた作業性。**  
ローラーでの作業性にすぐれています。
- ⑥ **ワンランク上の仕上がり。**  
塗膜表面がなめらかできめ細やか(シルクフェイス機構)なので上塗りの仕上がりを引き立てます。

## 〈標準塗装仕様〉

### JIS A 6909 可とう形改修塗材RE ~シーラーレス塗り替え改修仕様例~

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。 ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り1	平滑 なみがた	ニッペDANフィラーエポ	1	0.40~0.80	4時間以上	水道水	3~6
				0.80~1.30			0~3
中塗り2	オーデフレッシュ 共通中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー
上塗り	スーパーオーデフレッシュSi						エアレススプレー

### JIS A 6909 防水形複層塗材REの性能を有するシーラーレス塗り替え改修仕様例

※本塗り替え仕様は、JIS A 6909防水形複層塗材REの塗膜性能を有しますが、JIS規格仕様のためには、下塗りにニッペ水性カチオンシーラーまたは、ニッペ浸透性シーラー（新）が必要です。

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。 ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り1	ニッペDANフィラーエポ	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー(注2)
中塗り2	ニッペDANフィラーエポ	1	0.80~1.30	16時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー(注2)
中塗り3	オーデフレッシュ 共通中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー
上塗り	スーパーオーデフレッシュSi						エアレススプレー

注1) 平滑仕様の場合は、リフティングなどのおそれがありますので、上塗りに強溶剤系塗料の適用は避けてください。

注2) 砂骨ローラーで塗装した場合はなみがた仕上げになります。細めのローラーを使用したり、希釈率を調整することによりわずら肌仕上げに近づけることはできますが、事前に仕上がりの確認を行ってください。

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※塗り替えの場合で下地が弱い場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。

※旧塗膜が高弾性塗膜の場合は適用できない場合があります。

※適用可能な上塗り塗料・下塗り塗料については、別表をご参照ください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業所までご相談いただきますようお願いいたします。

※その他、詳しくは最寄りの営業所などへお問合せください。

塗り替え

# JIS A 6909 防水形複層塗材RE

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウェスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	ウールローラー、はけ
中塗り1	ニッペDANフィラーエポ	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー(注1)
中塗り2	ニッペDANフィラーエポ	1	0.80~1.30	16時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー(注1)
中塗り3	オーデフレッシュ 共通中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー エアレスプレー
上塗り	スーパーオーデフレッシュSi						

注1) 砂骨ローラーで塗装した場合はながみが付着しやすくなります。細めのローラーを使用したり、希釈率を調整することによりゆず肌仕上げに近づけることはできますが、事前に仕上りの確認を行ってください。

## 【新設仕様の注意点】

- ※下塗りはぬれ感がでるまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合には、その部分を増し塗りしてください。
- ※適用可能な上塗り塗料・下塗り塗料については、別表をご参照ください。
- ※上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは必ず所定の塗り重ね乾燥時間をもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

## 商品体系

商品名	系統名	容量	色相	つや
ニッペDANフィラーエポ	可とう形改修塗材RE主材 防水形複層塗材RE主材	16kg	白	—

## 適用下地

- 改修面の各種旧塗膜(アクリルリシン・吹付けタイル、その他旧塗膜)
- 新設面の各種素材(現場打ちコンクリート、モルタル、ALCパネル など)

## 適用上塗り塗料例

水性	アブラウドシラスタースーパーオーデフレッシュSi・F オーデフレッシュシリーズ(U100Ⅱ・Si100Ⅲ・F100Ⅲ) DANタイル水性上塗 DANフレッシュシリーズ(R・S) DANシリコンセラシリーズ(R・S)
弱溶剤	ファイン4Fセラミック、ファインシリコンフレッシュ、ファインSi、1液ファインシリコンセラUV(注1) 弾性ファインウレタンU100
強溶剤	デュフロン4FⅡ(注2) DANタイルU上塗

注1) ニッペ1液ファインウレタンU100弾性添加剤を必ず添加・混合して塗装してください。(塗料:添加剤=20:1)

注2) 中塗りにデュフロン4FⅡソフト中塗をご使用ください。

※フィラーを薄層仕様で用いる場合(可とう形改修塗材REでの平滑仕様)では、リフィティングのおそれがありますので、上塗りに強溶剤系塗料の適用は避けてください。

※上塗りはつや有りのみ適用可能です。つや調整品の適用は避けてください。

※オーデフレッシュシリーズ、スーパーオーデフレッシュは、つや有り・7分つや有り・5分つや有り・3分つや有りが適用できます。(オーデフレッシュF100Ⅲ・スーパーオーデフレッシュFは3分つや有りの調色はできません。)

※上記以外の適用およびJIS A 6909仕様の組み合わせについての詳細は、お近くの販売会社(営業所)までお問合せください。

## 下塗り適性(新設時)

水性	水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)
弱溶剤	ファイン浸透シーラー(透明・ホワイト)
強溶剤	浸透性シーラー(新) 一液浸透シーラー

## ニッペ DANフィラーエポ 施工上の要点・注意事項 (詳細な内容については、各商品の製品使用说明书などにてご確認ください)

1. フィラーを薄層仕様で用いる場合に、強溶剤系塗料を上塗りするとリフィティングのおそれがありますので適用を避けてください。
2. 規定の希釈率を超えたり、規定の使用量以下で塗装した場合は、期待する弾性機能が発揮されないおそれがあります。
3. 塗り替えの場合で下地が弱い弱な場合や吸い込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。
4. 旧塗膜が高弾性塗膜の場合は適用できない場合があります。
5. 開缶後放置するときは皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
6. 弾性塗料は塗膜が伸びるのでクラック追随性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を超えた震動、従来の壁と違った特殊構造(特殊な力)などにより、本来のクラック追随性を発揮できない場合があります。
7. 塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
8. 本品の上塗りに弾性適性のある上塗り以外の塗料を使用しますと、上塗り塗膜にクラックが入りやすく、付着性・耐候性などが低下しますので避けてください。
9. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
10. 塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きで除去してください。
11. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
12. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後の残液などはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
13. 動物ははけ、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
14. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておく必要があります。
15. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
16. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご確認ください。
17. 風化面・吸い込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
18. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
19. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形・塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所までご相談ください。
20. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
21. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目達し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
22. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー-200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください)
23. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
24. 素材にセメント成分が使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
25. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
26. 塗装場所の気温が5℃以下、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
27. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
28. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
29. 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
30. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
31. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起すことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものと、塗り重ねる適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が見られますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
32. 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないください。
33. 大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
34. はけ塗り仕上げローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面膜が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
35. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
36. 塗装方法により色相が多少変化する場合があるので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
37. よごれ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
38. ローラー、ハケなどは、ほかの塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用のご使用ください。
39. 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
40. 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜてご使用ください。開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
41. 開缶後は皮張りしやすいため、表面にすずく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを避けることができます。
42. 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
43. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

## 安全衛生上の注意事項 (ニッペDANフィラーエポ)

- ・ 本来の用途以外に使用しないでください。
- ・ 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・ 取り扱いには、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ・ 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・ 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ・ 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときは、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・ 鼻漏れしたとき: 気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・ 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- ・ 施設して子供の手の届かないところに保管してください。

- ・ 直射日光や水濡れは厳禁です。
- ・ 塗料缶などの積み重ねは段までとしてください。
- ・ 日光が遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- ・ 内容物、容器を廃棄するときは、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・ 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すこと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
 詳細な内容、表示以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。



## 警告

## 危険有害性情報

強い眼刺激

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright2017 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

# 日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●このカタログは再生紙を使用しています。

カタログNo.

NP-V054

MX170706T  
2017年7月現在